

集い学ぶ。

それぞれ場で学年を一つ前に進めて成長してきたきみたちが、その成長をより確かなものとするために、あえてきみ自身のそして君たち自身の根っこに刃を入れて、集い合って成長してきたその場と時に区切りをつけて、新たに集い合つての場と時を持つ。一人では難しい成長のより良き達成を、一人ひとりが確かな事実とするために、友と心を通い合わせて、友の存在を力として、もちろん、きみ自身も友の力となって、そのように相互にはたらき合う場を新たに持つのです。そのため大きなチャレンジの時にきみはいま臨んでいます。その機をよりゆたかなものとするために、何よりも大切なのはきみ自身の主体的・能動的な、新たな自己への、新たなわれらへのたくましく、そしてしなやかな創造意志です。

人類はこの世界、宇宙のことについてほとんど未知なのです。38億年のこの地球上の生命の歴史の中で、しんがりとして登場したのが人類。人類は生命の歴史を歩み始めたばかりです。だから、私たち自身のこと、そして宇宙のことも全然わからない状態なのです。私たちがふつうだと思っている物質、私たちが知っている物質は、実際には宇宙の中にあるあらゆるもの(物質とエネルギー)のうち、たった5%だけで、宇宙をつくっている残り95%はわからないのです。未知の問題の圧倒的な大きさに、学ぶことへの意欲、やる気が出てきませんか。まだ調べられていないこと、見つかっていないことは山ほどあるのです。

それは、きみたち自身についてもまったく同じです。きみたちは、まだ、自身のほとんどすべてのことに未知なのです。自分自身が今このようであることを大事に、そうである自身をまっすぐな心で受けとめて、ていねいに生きてゆく。未知の自分との出会いはそこから始まるのです。ワクワクするような《生きる》と《学び》を実現するために、今はまだ存在していない未来のきみのために大谷に集い、そして学び合い、生き会おうではありませんか。



大谷中学・高等学校
飯山 等 校長



わたしを大きな流れのなかで考える

小説家の小川洋子さんと、有名なユング心理学者であった河合隼雄さんとの対談が本となっている『生きるとは、自分の物語をつくること』を読んで、考える大切な視点をいただきました。皆さんにも紹介します。小川／あまりにも「個」にばかり執着していると、何か行き詰まってしまうんですね。河合／そう。「個」というものは、実は無限な広がりを持っているのに、人間は自分の知っている範囲内で個に執着するからね。私はこういう人間やからこうだとか、あれが欲しいとか。「個」というのは、本当はそんな単純なものじゃないのに、そんなところを基にして、限定された中で合理的に考えるからろくなことがないです。前提が間違っているんですから(笑)。小川／何か大きな流れの中の一部として、自分を捉えるような見方が足りないんですね。河合／「個」を大きな流れの中で考える、そういうふうな「個」を見るということはものすごく大事なんじゃないですかね。NHKTVに「奇跡のレッスン」という番組があります。世界の秀でた指導者が日本の小中高校生を一週間にわたりレッスンするドキュメンタリー番組です。2017年3月には吹奏楽が放映されました。指導するのはアメリカニューヨーク州世界最高峰の吹奏楽団として名高いイーストマン・ウインド・アンサンブルの第4代の現役指揮者であるマーク・スキヤタディさんです。レッスンを受けるのは埼玉県の公立中学校の部員27名の吹奏楽部。制作期間中に7人がインフルエンザになる波乱の状況に、中高生時代に吹奏楽に熱中した私は思わずハラハラしながら見入りました。形も大きさも違う10種類以上の全く音色の違う楽器でハーモニーをつくる吹奏楽。技術があってもうまいかない。ただ音を重ね合わせるのではなく、一緒に一つのものを作り上げるということを、生徒自身の中から自然なうずきが生まれて共有されていくようにやわらかく語りかけ、導いていく。「きみが観客に聞かせるのではなく、観客が君の音を聞きに来る」、「演奏に集中すると自分の音ばかりになりがちだね。君の音はほかの楽器のあの音と響き合っているんだよ」、「君の才能は君だけのものじゃない 演奏することでみんなと分け合える」、マークさんのレッスンが進むなかでみんなの表情が、そして音楽が確実に変わっていきます。私にとっても深い学びがいっぱいでした。皆さん一人ひとりのかけがえのない「個」を、この大谷で、〈大谷われら〉のなかでゆたかに育ててください。そして、「個」が〈われら〉において育まれることを、同時に〈われら〉を育む「個」であることを自身に信証してください。〈われら〉に受容・摂取され、〈われら〉を摂取・受容し成長してゆく「個」であることを、たゆむことなく成長してきた〈われら大谷〉であることを、あなたもまた確信し、証明する一人となってほしいと願います。時間は限られていますが、大谷という時と場があなたに与えてくれるもの、あなたが獲得するものはきっと無限です。ワクワクするような〈生きる〉と〈学び〉を実現するために、今はまだ存在していない未来のきみのために大谷に集い、そして学び合い、生き会おうではありませんか。



大谷中学・高等学校 校長 飯山 等